

大学自己評価部会だより

第43号 (平成27年4月)

カリキュラム・ポリシー

大学院歯学研究科(博士課程)では本学の理念および教育研究目標にもとづき、学位授与の方針が明確に定められています。カリキュラム・ポリシーとは、教育目標やディプロマ・ポリシー等を達成するために必要な教育課程の編成や授業科目の内容および教育方法について基本的な考え方を示したものです。

- (1) 高度の専門性を習得することを目的に、所属分野の講義・演習を実施する。
- (2) 包括的な生命科学および臨床の知識と技術を習得することを目的に、専門領域の枠を超えて講義・演習を実施する。
- (3) 生命科学全般の基礎や研究遂行に必要な方法論に関する講義・演習を実施する。
- (4) 歯科臨床および研究に応用することを目的に、医工学と連携した講義・演習を実施する。
- (5) 国際性の向上のため、外国語によるプレゼンテーションや論文作成能力を養成する講義・演習を実施する。
- (6) 学内外を問わず多くの分野における高度な専門家による講義・演習を実施する。

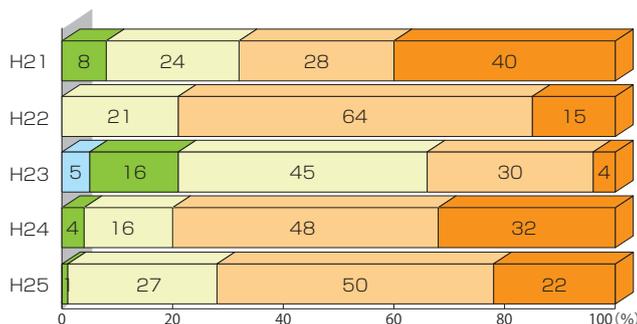
アンケートの調査結果を報告します

大学院生の履修科目についての満足度、履修の方法や制度の理解度および研究の実態などについて、平成21～25年度の5年間を比較しました。

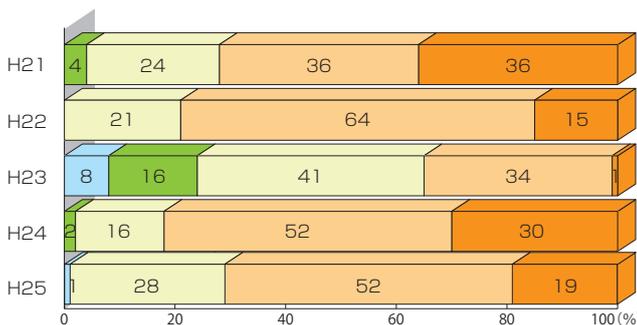
① 主科目および副科目・選択科目に対する満足度

大学院では、平成19年度よりシラバスを作成し、毎年講義内容の見直しや受講者の少ない選択科目の見直しを行い講義・実習の充実を図っています。

主科目に対する満足度



副科目・選択科目に対する満足度

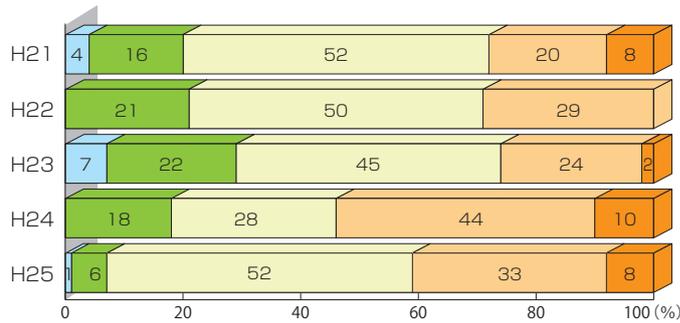


■ 高い
■ 少し高い
■ 普通
■ 少し低い
■ 低い

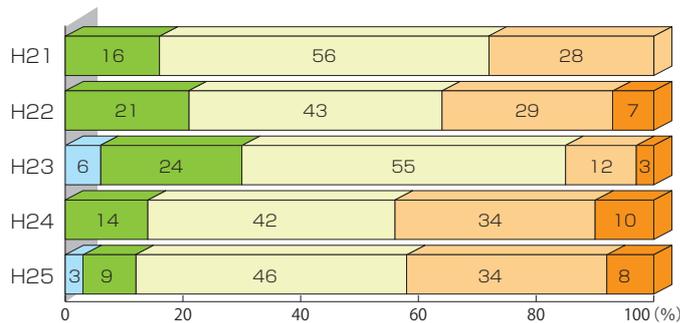
② 授業要綱や学習相談などについて

授業要綱(シラバス)の書き方を統一したことにより、ずいぶん見易く、判り易くなったようです。大学院生のニーズを大学が把握していないという意見として「英語論文の書き方」、「プレゼンテーションスキル」や「臨床研究デザイン」などの講義の開設要望が挙がっています。

授業要綱は判り易いですか

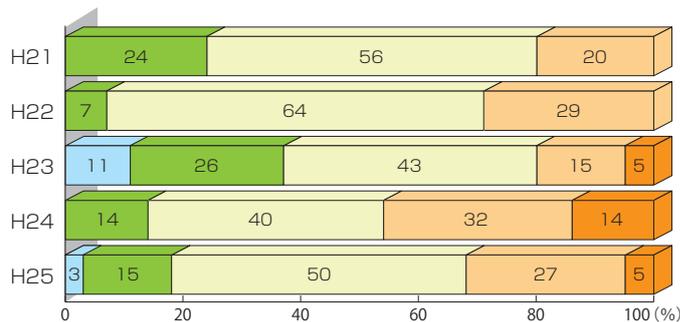


学習相談や助言などは適切に行われていると思いますか



■ そう思う
■ どちらかといえばそう思う
■ どちらともいえない
■ どちらかといえばそう思わない
■ そう思わない

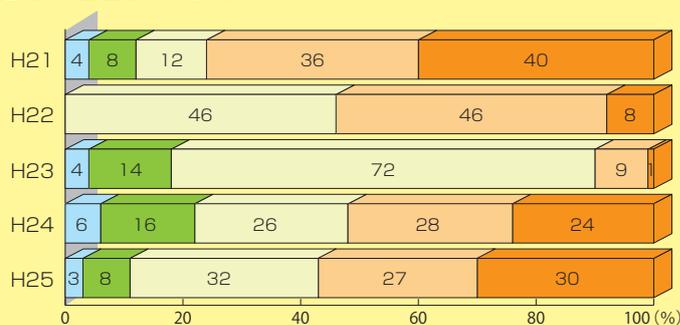
大学は皆さんのニーズを適切に理解していると思いますか



③ 研究指導に対する満足度

研究指導に対する満足度の低い学生の割合は若干減少したようですが、臨床と研究のバランスに配慮して欲しいという意見が出てます。指導教員の先生方は大学院生と臨床と研究のバランスについてよく話し合っ、研究を進めることが大切です。

現在の研究指導に満足していますか



■ 高い
■ 少し高い
■ 普通
■ 少し低い
■ 低い

大学自己評価部会だより

第44号 (平成27年5月)

アンケート調査結果を報告します

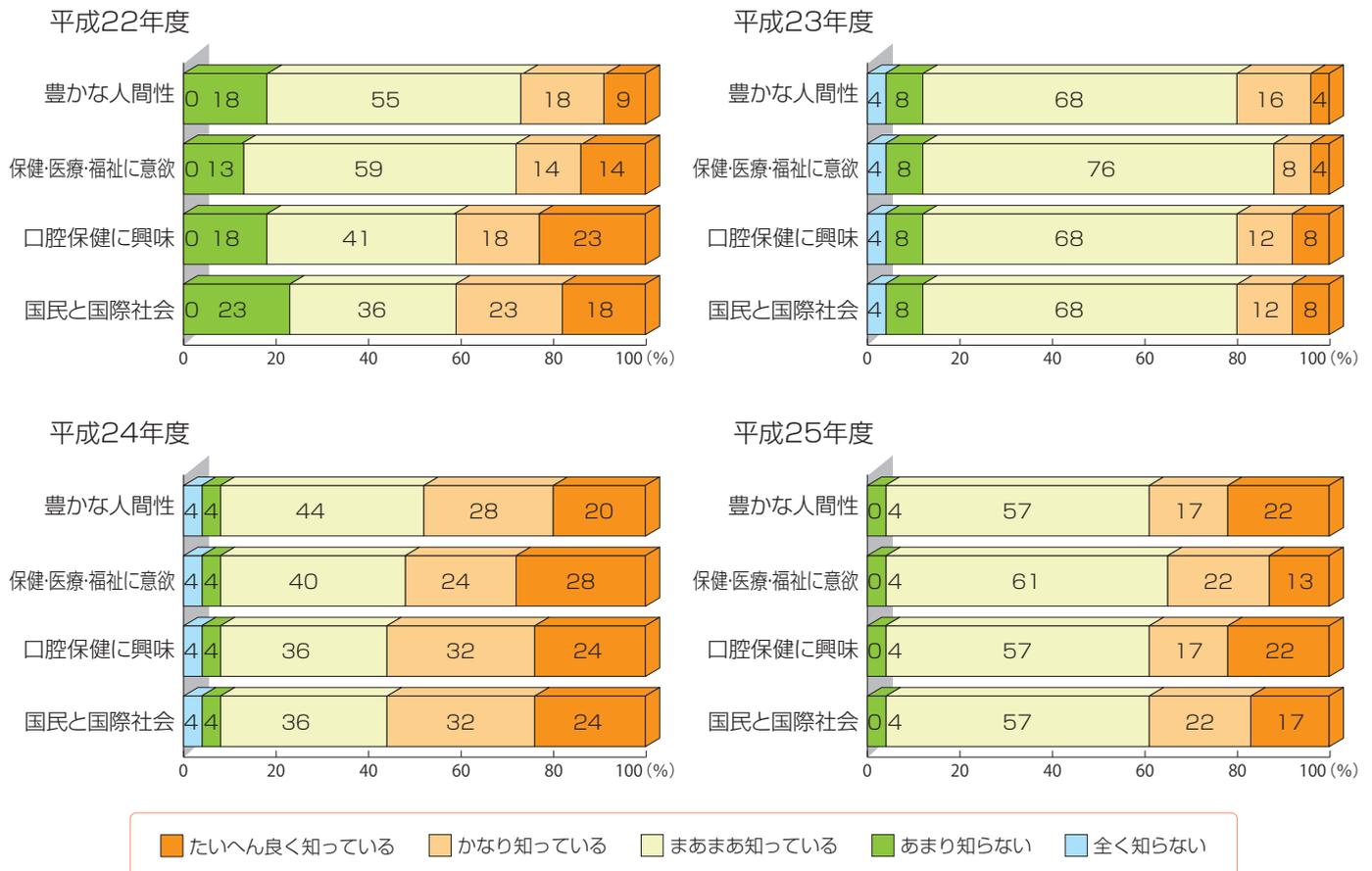
平成22年～25年度の口腔保健学科1年生および平成21年～25年度の歯学科1年生において、各学科のアドミッションポリシーの周知度について比較しました。

口腔保健学科のアドミッションポリシー（求める学生像）

- (1) 豊かな人間性とコミュニケーション能力を身につけ、相手の気持ちを理解できる人
- (2) 保健・医療・福祉に対して意欲的に取り組み、新しい課題に意欲的にチャレンジする人
- (3) 口腔保健に強い興味を持ち、生涯を通じて学習意欲を持続できる人
- (4) 口腔保健活動を通じ、国民の健康増進および国際社会に貢献しようという強い意欲を持った人

口腔保健学科におけるアドミッションポリシー周知度

周知度は年々上昇しています。とくに平成25年度では「全く知らない」「あまり知らない」が極めて少なくなりました。この傾向が持続することを期待します。



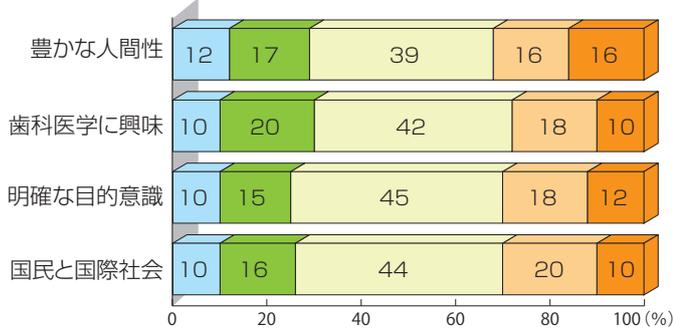
歯学科のアドミッションポリシー（求める学生像）

- (1) 豊かな人間性とコミュニケーション能力を身につけ、相手の気持ちを理解できる人
- (2) 歯科医療および歯科医学に興味を持ち、自ら新しい課題に意欲的に取り組もうとする人
- (3) 歯科医療および歯科医学について明確な目的意識を持ち、生涯を通じて学習意欲を持続できる人
- (4) 歯科医師として国民の健康増進および国際社会に貢献しようという強い意欲を持った人

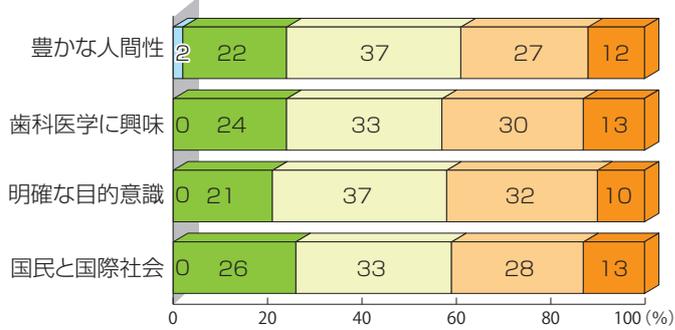
歯学科におけるアドミッションポリシー周知度

平成24年度までは周知度が年々上昇していましたが、平成25年度はほぼ全ての項目で「全く知らない」「あまり知らない」が増加、「たいへん良く知っている」「かなり知っている」が減少しました。周知度の上昇を望みます。

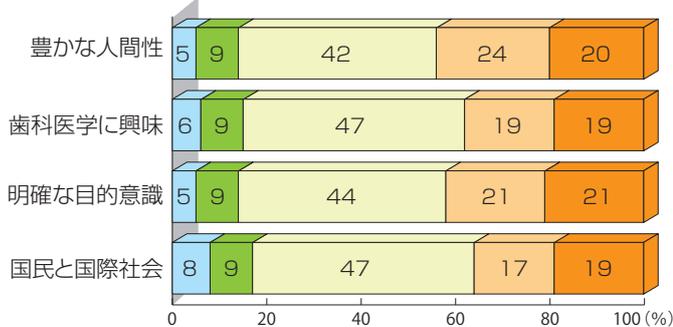
平成21年度



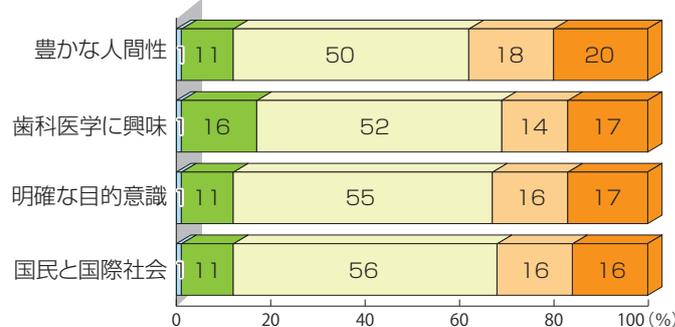
平成22年度



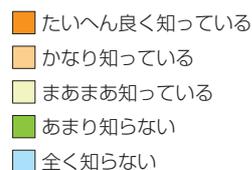
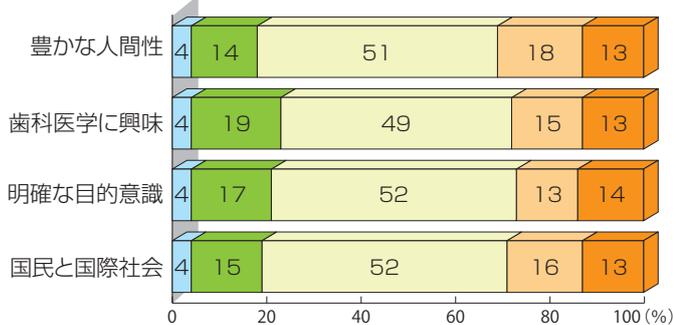
平成23年度



平成24年度



平成25年度



大学自己評価部会だより

第45号 (平成27年7月)

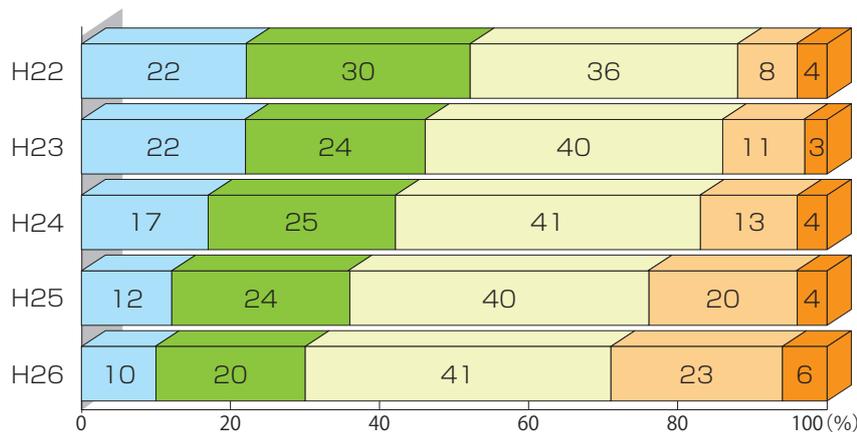
アンケートの調査結果を報告します

歯学科、口腔保健学科の学生を対象としたアンケートから、学習面でのニーズに対する満足度、奨学制度の認識度、サークル活動の満足度の3つの視点から学生生活の状況について調査しました。

① 学習面でのニーズに対する満足度

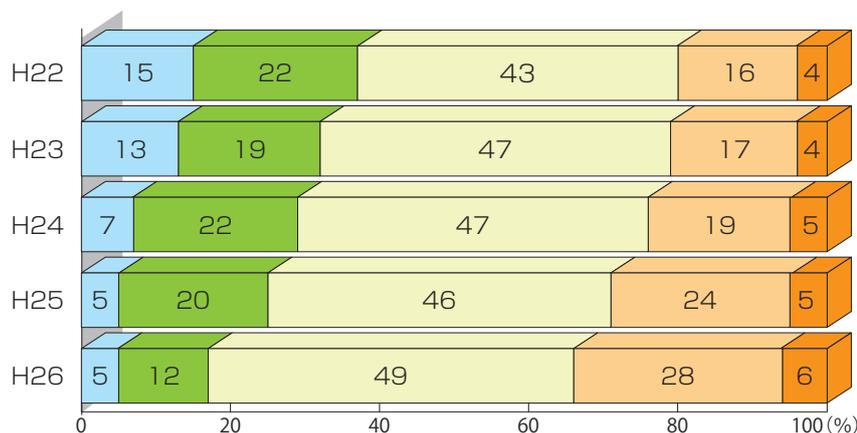
平成22年度、大学が学習面でのニーズを把握していないと感じる学生は半数以上でした。その後、徐々に改善されていますが、これからも学生の声に耳を傾けていかなくてはなりません。

大学は学習面のニーズを把握していると思いますか



■ そう思う
■ どちらかといえばそう思う
■ どちらともいえない
■ どちらかといえばそう思わない
■ そう思わない

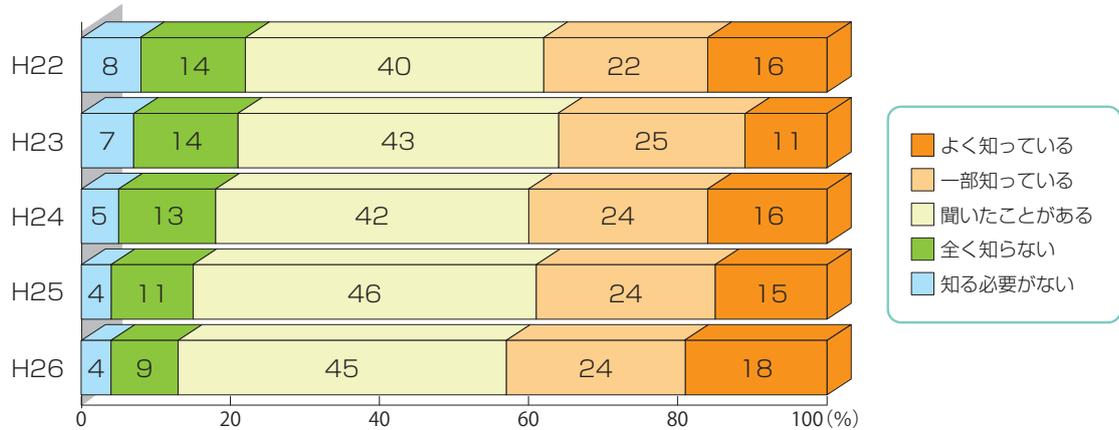
総合的に判断して、学習相談や助言などは適切に行われていると思いますか



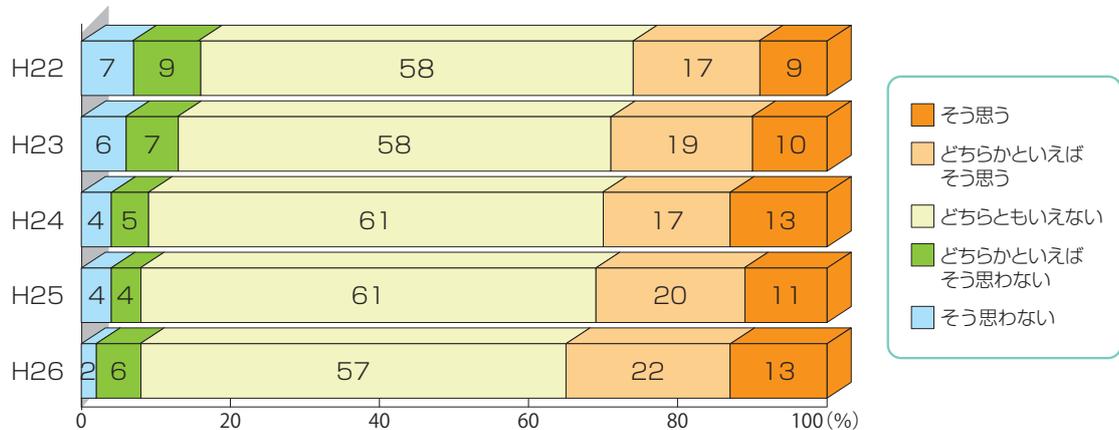
② 奨学制度について

奨学制度を「知らない」学生は徐々に減少していますが、今後も周知していかなくてはなりません。

本学で取り扱っている奨学制度を知っていますか



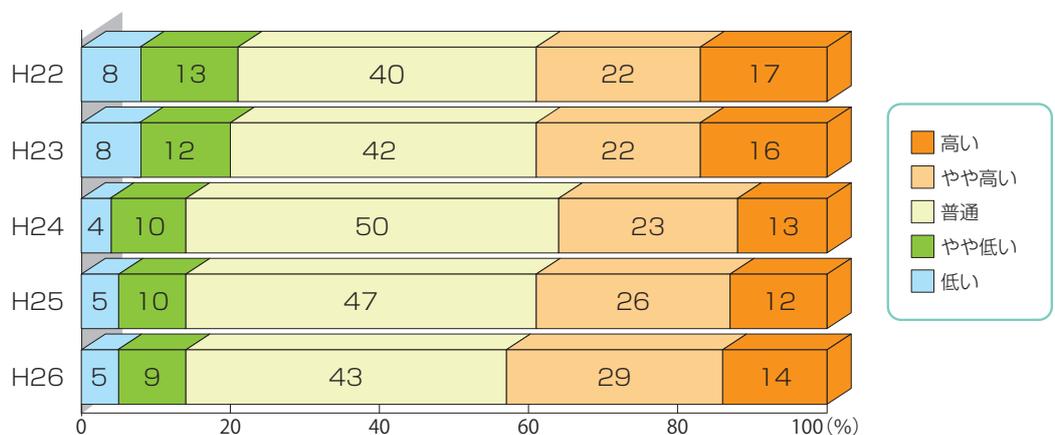
奨学制度は充実していると思いますか



③ サークル活動への満足度

サークル活動に関して、満足度の「高い」あるいは「やや高い」学生の割合が40%を超えました。

サークル活動・部活に満足していますか



大学自己評価部会だより

第46号 (平成27年9月)

大学の理念

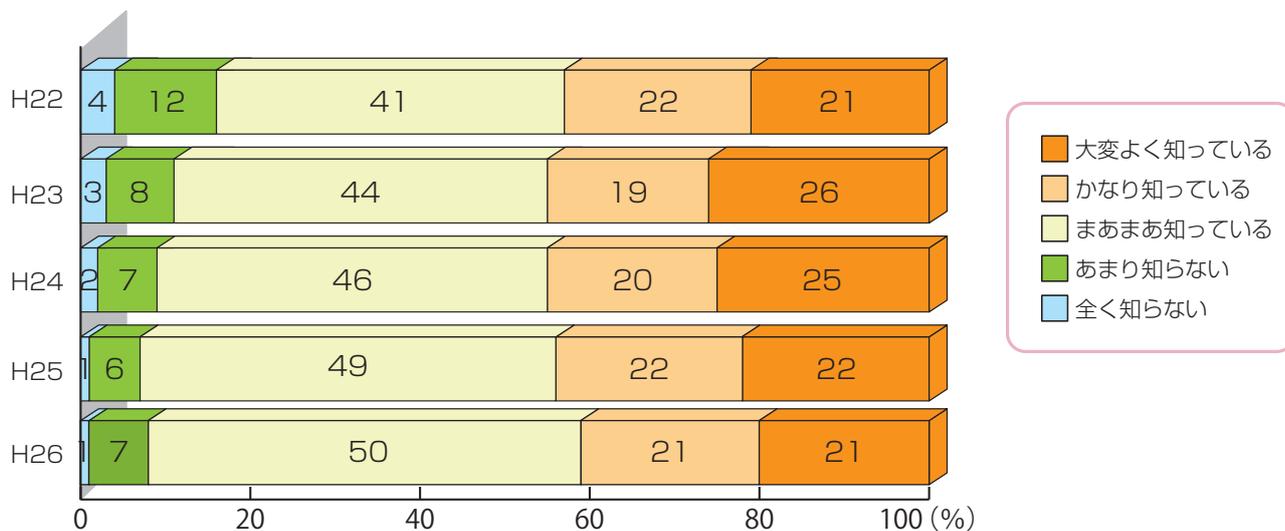
1. 高度な専門性を持った歯科医療人の育成
2. 地域医療の中核的役割を果たす
3. 歯科医学を支える研究の推進

アンケートの調査結果を報告します

学部学生を対象とした大学理念の周知度、講義、実習および大学教育への満足度を平成22年度～平成26年度で比較しました。

① 大学理念の周知度

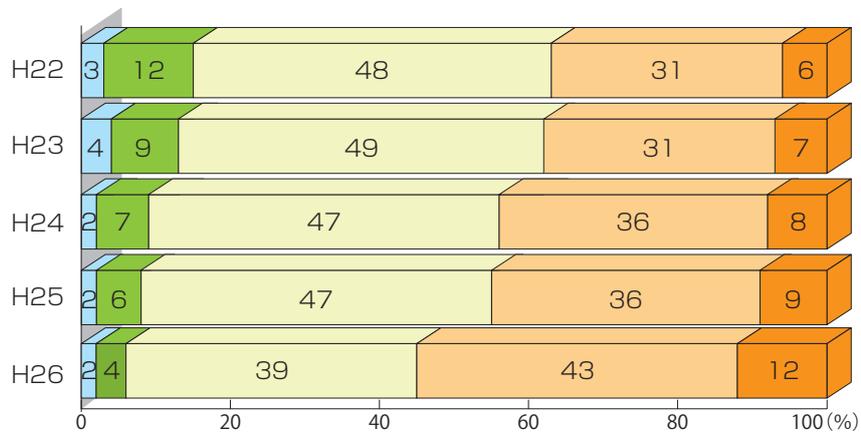
大学理念の周知度は、平成26年度は平成25年度とほぼ同様の結果でした。しかし大変よく知っている割合は、ピークの平成23年から少し減少傾向となっています。皆さん、さらなる大学理念の周知向上を目指して頑張りましょう!!



② 講義、実習の満足度

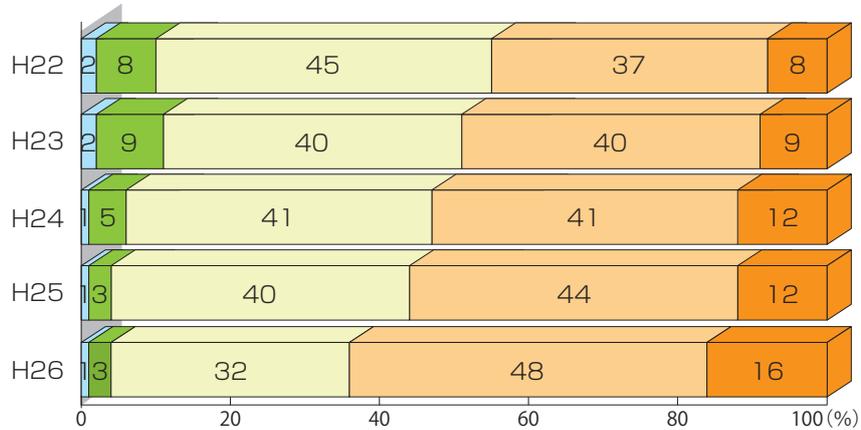
平成26年度は、平成25年度に比べて講義・実習の満足度は(高いおよび少し高い)の割合の増加が認められました。特に講義の少し高い割合が大幅に増加しています。それらにともない普通の割合の減少も認められました。

講義の満足度



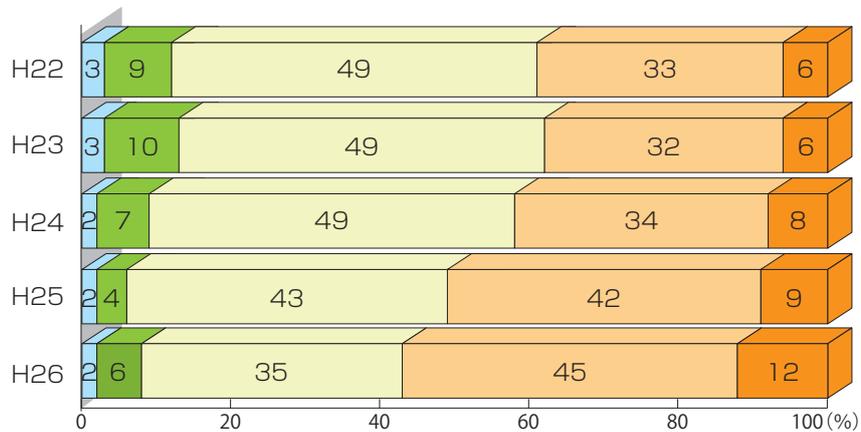
■ 高い
■ 少し高い
■ 普通
■ 少し低い
■ 低い

実習の満足度



③ 大学教育への満足

大学教育への満足度は平成26年度は25年度と比べて(高いおよび少し高い)の割合の増加と普通の割合の減少が認められました。今度とも大学教育の満足度が增加するように教育改善の努力を続けていかなければなりません。



■ 高い
■ 少し高い
■ 普通
■ 少し低い
■ 低い

大学自己評価部会だより

第47号 (平成27年11月)

■教育研究目標

九州歯科大学は、基本理念の実現に向けて、以下のような教育・研究を行います。

- (1) プロフェッションとしての人間性、豊かな教養、専門知識および技能の備わった歯科医療人を育成する。
- (2) 科学的情報を正しく解釈し、根拠に基づいた歯科保健医療活動が行える人材を育成する。
- (3) 全身の健康という視点に立ち、いかなる社会構造の変化にも対応できる歯科医療人を育成する。
- (4) 多職種と連携し、歯科保健医療を通じて地域社会に貢献することができる歯科医療人を育成する。
- (5) 国際連携交流活動を強化し、国際的な視野に立って歯科保健医療活動が行える人材の育成を推進する。
- (6) 学際領域の学問分野と協働し、地域社会の発展に寄与するとともに、国際的な研究を展開する。

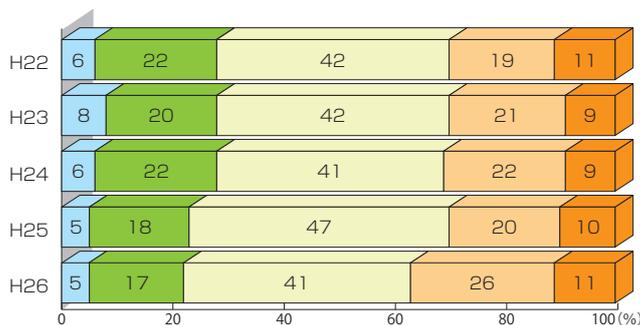
アンケート調査結果を報告します

学部学生を対象とした図書館関連施設、IT関連施設、体育関連施設等の満足度を平成22～26年度の各年度で比較しました。

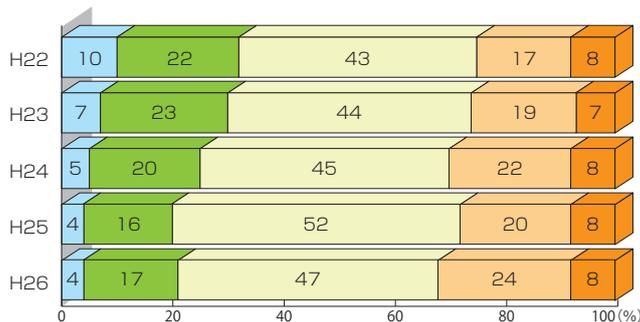
① 図書館関連の満足度

図書館の学習環境および図書の満足度について、平成25年度から平成26年度にかけて、(大変満足している、かなり満足している)の割合の上昇が認められました。今後も学習環境および図書の満足度が上昇していくように、改善を継続していかなくてはなりません。

図書館での
学習環境の
満足度



図書の
満足度

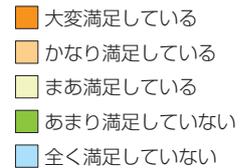
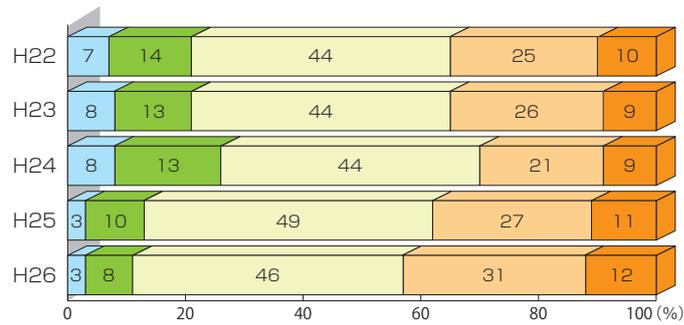


■ 大変満足している
■ かなり満足している
■ まあ満足している
■ あまり満足していない
■ 全く満足していない

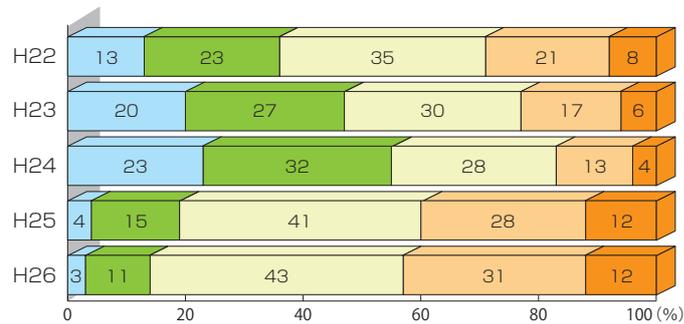
② IT関連施設等の満足度

平成24年度から平成26年度にかけて、演習室およびパソコンの満足度について、(大変満足している、およびかなり満足している)割合の上昇が認められました。

コンピューター
演習室の
満足度



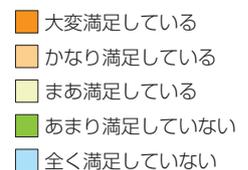
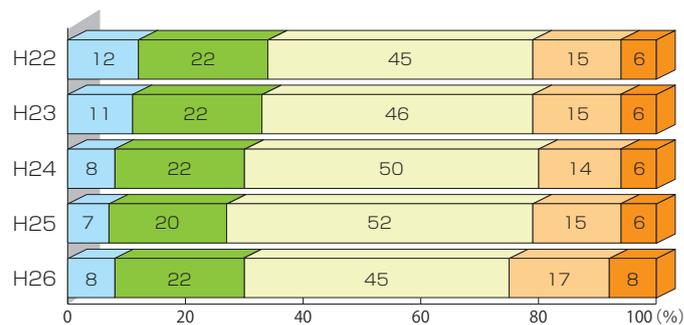
パソコンの
満足度



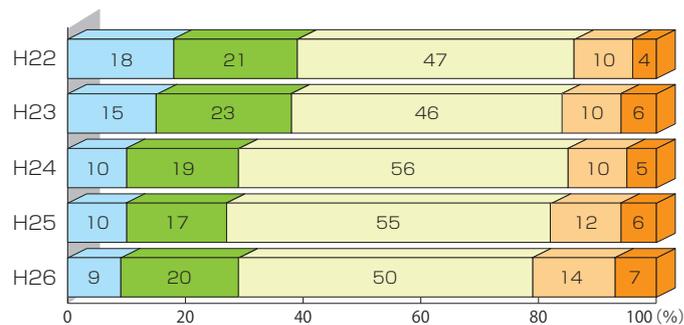
③ 体育関連施設の満足度

平成24年度から平成26年度にかけて、体育館およびグラウンドの満足度について、(大変満足している、およびかなり満足している)割合の上昇が認められました。

体育館の
満足度



グラウンド
の満足度



大学自己評価部会だより

第48号 (平成28年1月)

■九州歯科大学憲章（前文）

平成26年の創立100周年を機に九州歯科大学は、次なる世紀に向けて患者中心の歯科医療を提供できる人材の育成を第一義に掲げ、全人的歯科医学教育活動を展開します。

新たな大学づくりに踏み出すにあたり、ここに「九州歯科大学憲章」を掲げ、学生、教員、職員の3者が一体となって、理念の共有と目標の実現を目指します。

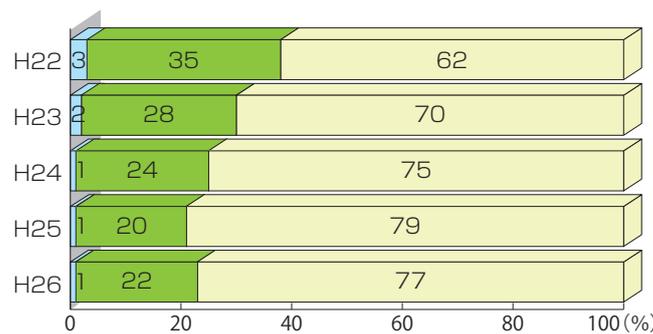
アンケート調査結果を報告します

心身の健康に関する相談室の認知度、自主学習の場所と時間に関する状況および生活面でのニーズの把握の満足度について、平成22年度～平成26年度の5年間を比較しました。

① 健康に関する相談室の認知度

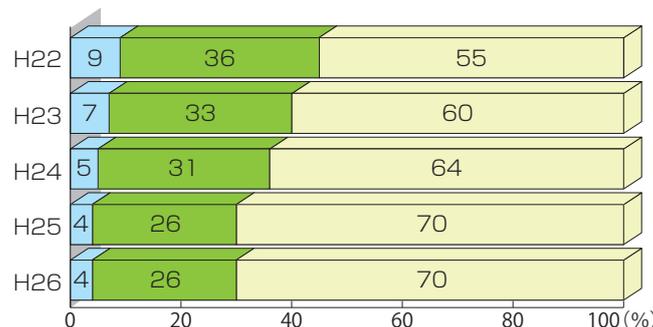
健康管理室と学生相談室(旧カウンセリング・ルーム)の認知度は高く、しかも平成25年度まで増加傾向にありました。しかし、平成26年度はほぼ横這いでした。今後、認知度が減少傾向に転じないように見守る必要があります。なお、平成26年度に1回以上利用した人の割合は、健康管理室が54.9%、学生相談室が16.1%でした。

本学に
健康管理室があるの
を知っていますか。



□ 知っている
■ 何となく知っている
■ 知らない

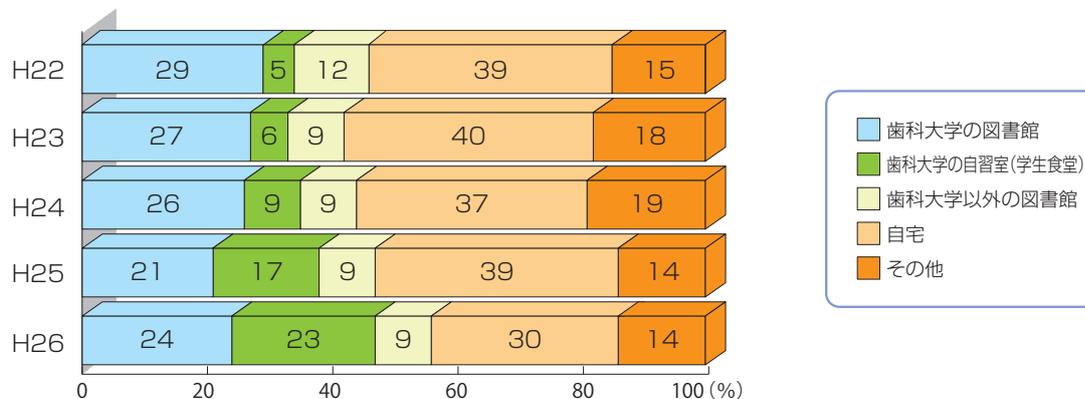
本学に
学生相談室
(カウンセリング・ルーム)が
あるのを知っていますか。



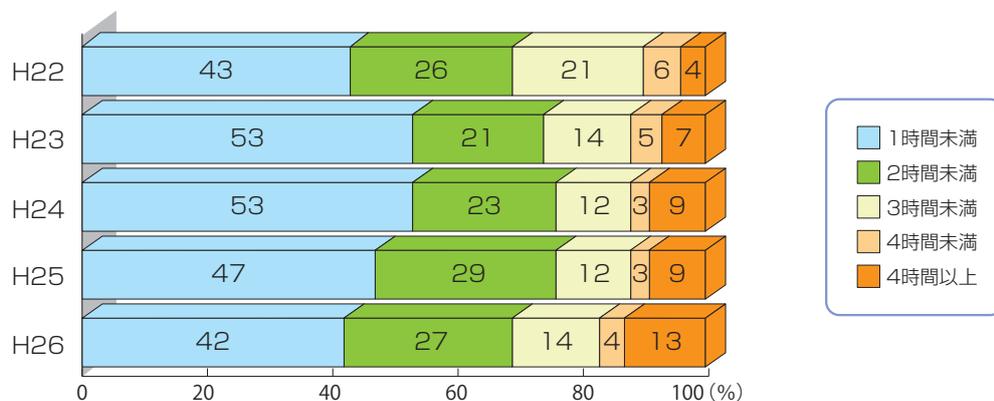
② 自主学習の場所と時間

平成25年度以降、それまでの「歯科大学の自習室」を「学生食堂」に置き換えました。その結果、学生食堂の利用率の高さが伺われ、さらに増加傾向にあります。自宅学習が減少傾向に、歯科大学の図書館が横這いの状態にあります。1日の学習時間は、平成23年度以降「1時間未満」が減少し「4時間以上」が増加の傾向にあります。この傾向が継続することを願います。

土日・祝祭日など、
大学が休みの時の
自主学習は主に
どこを利用しますか。



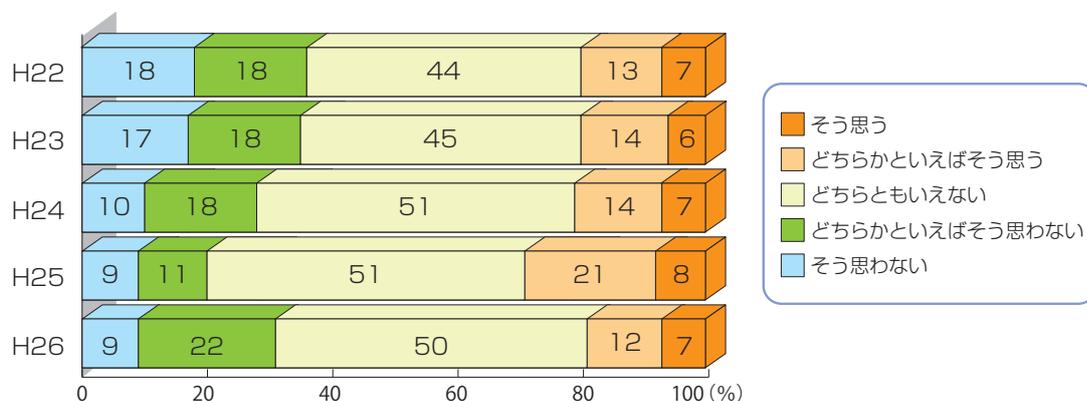
試験勉強を除く
あなたの自主学習
時間は、1日平均
何時間ですか。



③ 生活面でのニーズの把握に関する満足度

例年ほぼ半数が「どちらともいえない」と答えています。そのような中、平成24・25年度に「思わない」の割合が減少したものの、平成26年度には再び増加し、「どちらかといえばそう思う」が減少しました。

本学として、
生活面での皆さんの
ニーズを適切に把握し
ていると思いますか。



大学自己評価部会だより

第49号 (平成28年2月)

ディプロマ・ポリシー

大学院歯学研究科(博士課程)では本学の理念および教育研究目標にもとづき、学位授与の方針が明確に定められています。デュプロマ・ポリシーとは、学位授与の判断のための基本的な考え方として、修了要件や育成する人材に習得を期待する能力を示したものです。

- (1) 歯科医師として求められる専門知識と技能が備わっていること。
- (2) 柔軟な判断力と問題の自己解決能力が備わっていること。
- (3) 歯科保健医療を通じて社会に貢献する能力が備わっていること。
- (4) 全身の健康という視点に立った歯科医療活動をできる能力が備わっていること。
- (5) 国際的な社会貢献できる基礎的能力が備わっていること。
- (6) 歯科医学を支える研究を国際的に展開する基礎的能力が備わっていること。
- (7) 学際領域の学問分野とともに地域社会と連携した研究を展開し、地域社会の発展に寄与する能力が備わっていること。

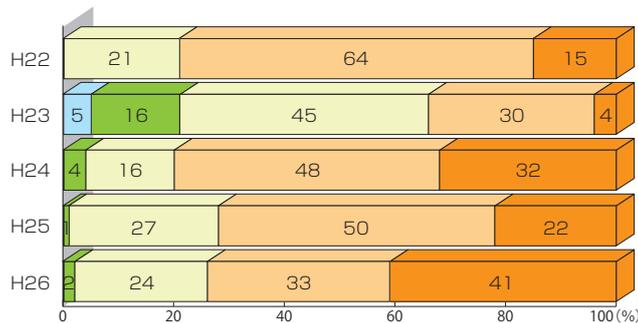
アンケートの調査結果を報告します

大学院生の履修科目についての満足度、履修の方法や制度の理解度および研究の実態などについて、平成22～26年度の5年間を比較しました。

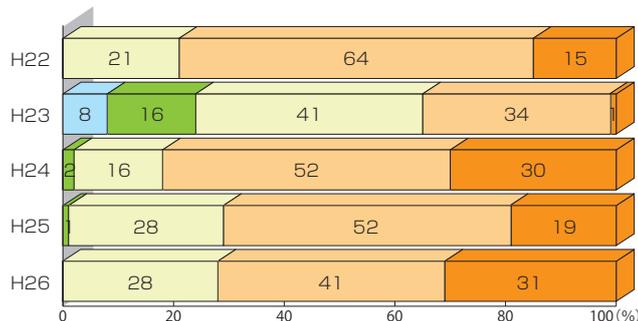
① 主科目および副科目・選択科目に対する満足度

大学院では、毎年講義内容の見直しを行っています。また、平成25年度より北九州市立大学、九州工業大学、産業医科大学との大学院の単位互換を開始しました。大学院生には選択科目の幅が広がり、より興味ある講義・実習が提供されています。

主科目に対する
満足度



副科目・選択科目に
対する満足度

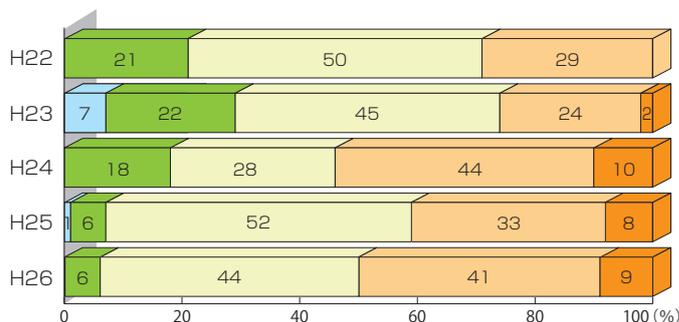


■ 高い
■ 少し高い
■ 普通
■ 少し低い
■ 低い

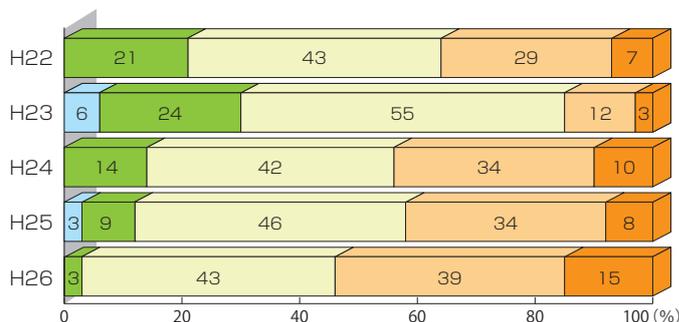
② 授業要綱や学習相談などについて

授業要綱(シラバス)の書き方を統一したことにより、ずいぶん見易く、判り易くなったようです。大学院生の要望が多かった「臨床研究デザイン」を開講し、好評を得ました。その一方で、プレゼンテーションを教える講義に対する要望にはまだ十分応えられていないようです。

授業要綱は判り易いですか

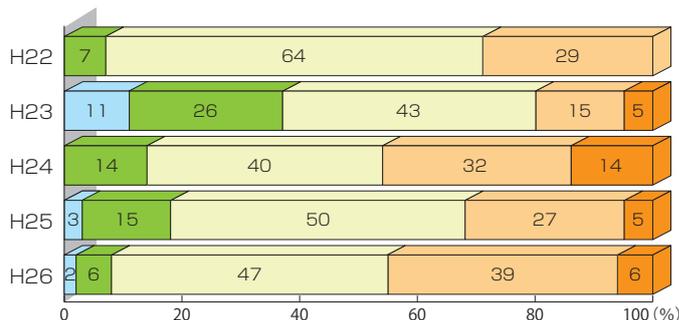


学習相談や助言などは適切に行われていると思いますか



■ そう思う
■ どちらかといえばそう思う
■ どちらともいえない
■ どちらかといえばそう思わない
■ そう思わない

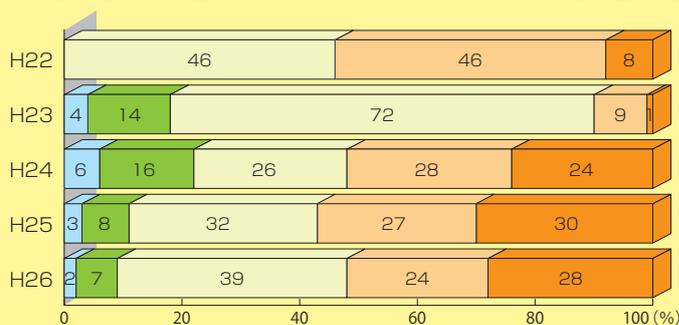
大学は皆さんのニーズを適切に理解していると思いますか



③ 研究指導に対する満足度

過去2年間は概ね高評価を得ていますが、やはり研究と臨床のバランスに配慮して欲しいという意見と、研究に関する論文がダウンロードできないという意見が多く見られます。指導教員の先生方は大学院生と研究のゴールを明確にし、臨床と研究のバランスについてよく話し合うことが大切です。

現在の研究指導に満足していますか



■ 高い
■ 少し高い
■ 普通
■ 少し低い
■ 低い

大学自己評価部会だより

第50号 (平成28年3月)

アンケート調査結果を報告します

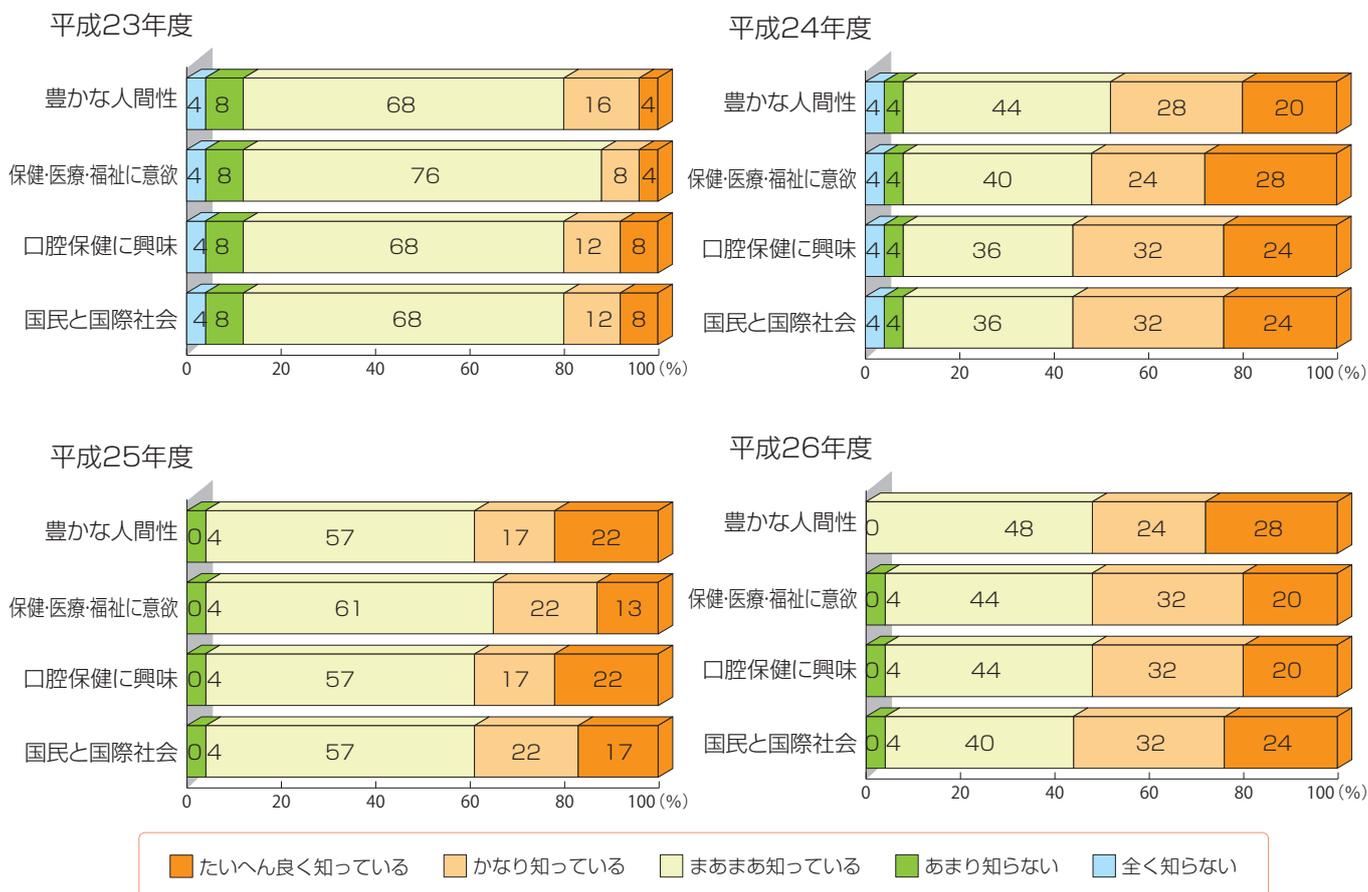
平成22年～26年度の口腔保健学科および歯学科1年生において、各学科のアドミッションポリシーの周知度について比較しました。

口腔保健学科のアドミッションポリシー（求める学生像）

- (1) 豊かな人間性とコミュニケーション能力を身につけ、相手の気持ちを理解できる人
- (2) 保健・医療・福祉に対して意欲的に取り組み、新しい課題に意欲的にチャレンジする人
- (3) 口腔保健に強い興味を持ち、生涯を通じて学習意欲を持続できる人
- (4) 口腔保健活動を通じ、国民の健康増進および国際社会に貢献しようという強い意欲を持った人

口腔保健学科におけるアドミッションポリシー周知度

周知度は年々上昇しています。とくに平成26年度では全ての項目で、過半数が「たいへん良く知っている」「かなり知っている」と回答しました。とても良い傾向です。

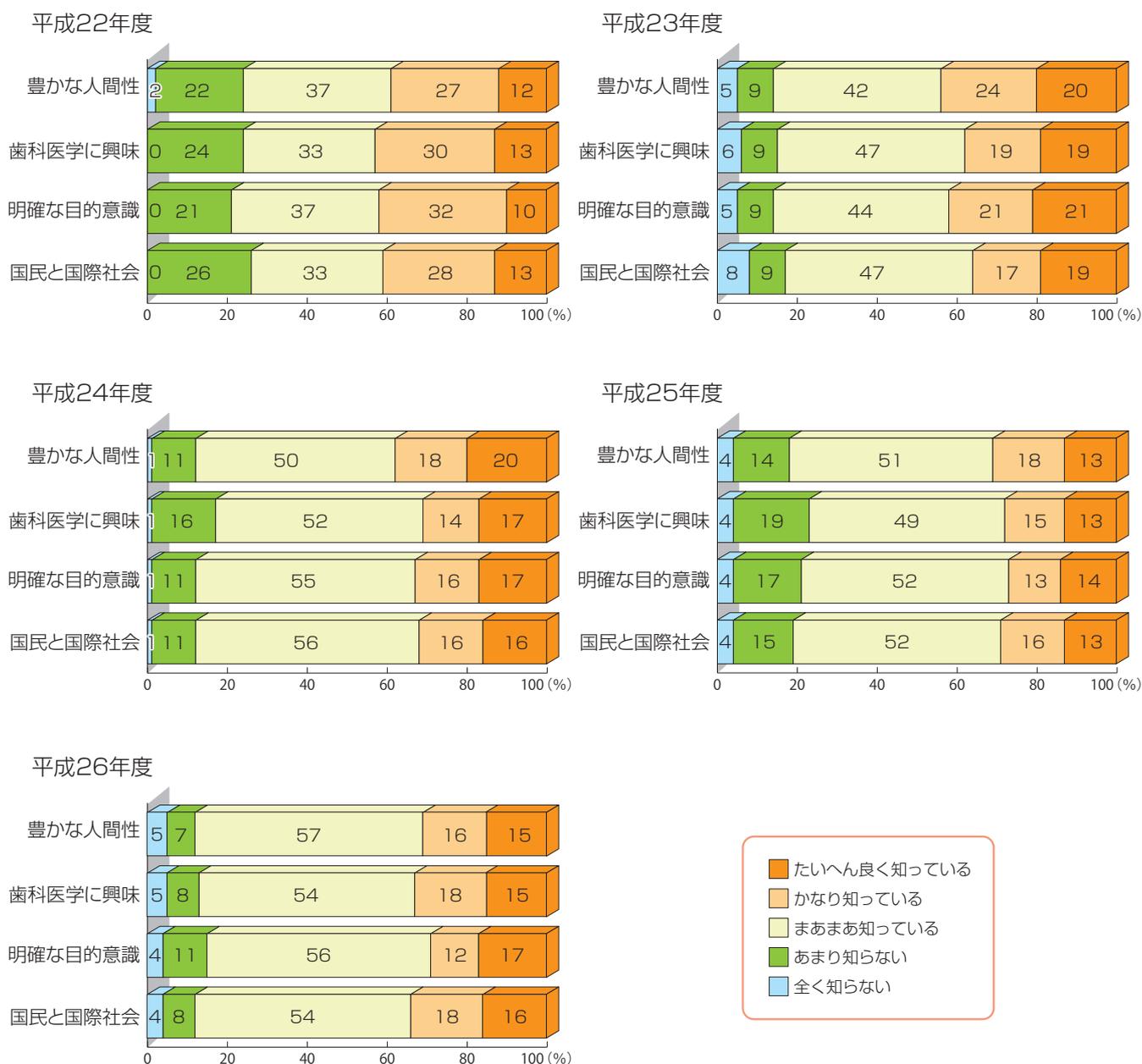


歯学科のアドミッションポリシー（求める学生像）

- (1) 豊かな人間性とコミュニケーション能力を身につけ、相手の気持ちを理解できる人
- (2) 歯科医療および歯科医学に興味を持ち、自ら新しい課題に意欲的に取り組もうとする人
- (3) 歯科医療および歯科医学について明確な目的意識を持ち、生涯を通じて学習意欲を持続できる人
- (4) 歯科医師として国民の健康増進および国際社会に貢献しようという強い意欲を持った人

歯学科におけるアドミッションポリシー周知度

平成24年度までは周知度が年々上昇していました。平成25年度はやや周知度が下がったものの、平成26年度には全ての項目で周知度が上がりました。さらなる周知度の上昇を望みます。



- たいへん良く知っている
- かなり知っている
- まあまあ知っている
- あまり知らない
- 全く知らない